

# 樟樹くすのきの十五いご社の森の

高野山麓・かつらぎ町の山あい  
に、かつて伊勢参詣道として利  
用された旧大和街道がある。道  
中にある妙楽寺の境内には、地  
域を見守るようにそびえ立つ巨  
大な樟樹がある。近畿地方一の  
巨樹で、樹齢は 600 年以上。  
1958 (昭和 33) 年に県の指定天  
然記念物にも指定された。幹周  
りは13.4m、樹高20m、枝張り  
25m。支幹は八方に分かれ、境  
内を包むように広がる枝が森の  
ように見えることから「十五社  
の森」とも呼ばれている。